

生莢用 (中熟莢塩ゆで) 落花生の栽培法

第3報 早穫り栽培における収穫時期

露重美義・加治屋伸章・*宮下茂樹 (鹿児島県農業試験場大隅支場・*元同支場)

Miyoshi TUYUSHIGE, Nobuaki KAJIYA and Shigeki MIYASHITA : Cultivation Techniques of Green Peanut for Boiling with Brine

3. Harvesting Time in Early-Season Culture

生莢落花生は、開花期後の経過日数が長いほど完熟に近づき、収量は増加するが、過度に経過すると子実が硬くなり食感が劣る。また、早期出荷ほど高値で取り引きされることから、収穫時期について検討した。

1. 試験方法

ナカテユタカ (1987, '89年) とワセダイリュウ ('88, '89年) を用い第1表に示すように、播種をマルチ+トンネル栽培の、早播き限界期である3月1半旬からほぼ10日毎に3回行い、さらに3月5半旬、4月1半旬にはマルチ区も設けた。収穫は開花期後60日 (一部50日) から10日毎に、収量の推移について調査した。マルチ+トンネル栽培の耕種法は、マルチの標準栽培にビニールフィルムをトンネル被覆し、トンネル内の温度管理は第2報に準じた。

2. 結果及び考察

各播種期における開花期は第1表のとおりである。ワセダイリュウの3月1半旬播きは4月5半旬で、以下5月1半旬、2半旬でマルチ4月1半旬播きは5月5半旬であった。ナカテユタカはマルチ+トンネル及びマルチ栽培ともに、ワセダイリュウよりほぼ1半旬の遅れであった。

開花期後60日における収量は、ワセダイリュウのマルチ+トンネル栽培は37~42kg/aで、播種期の早いほど結実期間の気温が低いことから低収である。その後は、各播種期とも開花期後80日まで顕著に増加したが、90日にかけては微増に留まり、絶対収量も開花期後60日と同様に早播きが低収であった。マルチ栽培の開花期後60日収量は、マルチ+トンネル3月1半旬播きと大差なく、収量の推移も類似したが、絶対収量は3月3, 5半旬播きと同程度であった。ナカテユタカは、マルチ+トンネルの3月1, 3半旬播きの開花期後70~80日の10日間における増収割合が小さく、ワセダイリュウと異なったが

90日目の収量から推定して、ワセダイリュウと同様の経過をたどるものと思われ、マルチ栽培も収量差はあるが傾向は大差なかった。

このように収量性からみた収穫適期は、開花期後80日程度で、希少価値を求めて早期収穫を行う場合、45kg/a程度の収量は必要と考えられることから、収穫期の早限はトンネル栽培の3月1半旬播きは開花期後70日、3, 5半旬播きは60~70日、マルチ栽培は60日程度である。

各調査時の上莢割合は、開花後経過日数に伴い高くなり、同一日数では播種期の遅いほど高いが、品質面から確保したい上莢割合が70%に達する開花後日数は、マルチ+トンネル栽培の3月1, 3半旬播きは60~70日、5半旬播き及びマルチ栽培は60日程度であった。

塩ゆで加工適性調査は、4月播きマルチ栽培のナカテユタカを供試し、本県の農産物加工研究指導センターに依頼した。適色調は、莢L値50、子実L値45・a値3以下

第2表 生莢に占める上莢の割合 (%)

播種期	開花後経過日数 (日)									
	ナカテユタカ					ワセダイリュウ				
	50	60	70	80	90	50	60	70	80	90
トンネル3月1半旬	-	58	80	82	88	-	65	71	87	89
" 3 "	-	67	79	82	90	-	49	78	82	91
" 5 "	50	70	79	87	86	32	70	83	81	85
マルチ3月5 "	62	76	80	87	90	-	-	-	-	-
" 4月1 "	55	75	83	87	91	51	70	75	83	91

下程度で、子実 (完熟) の硬さは4以下が適当と思われ、加工適性からみた収穫適期は、開花期後80日程度で、90日以上になると子実が硬くなり外観も劣る。

以上のことから、生莢落花生の収穫適期は収量性、上莢割合、加工適性から、開花期後80日程度で、早限は播

第1表 播種期と生莢収量 (kg/10a)

品 種	ナカテユタカ					ワセダイリュウ				
	トンネル・マルチ		マルチ			トンネル・マルチ		マルチ		
播種/半旬	3/1	3/3	3/5	3/5	4/1	3/1	3/3	3/5	4/1	
開花/半旬	4/6	5/1	5/3	5/5	5/6	4/5	5/1	5/2	5/5	
6/5						367				
6	392					462	405	381		
7/1	487	362	258			519	518	423		
2		505	412	401					274	
3		506			388			554		
4		517	563	438		538	576	596		348
5		553			465			582	587	
6				714	678					469
8/1		628	691	656						451
2					605					469
3					722					578
4					659					
5										
6										

第3表 開花後日数と加工適性

開花後日数	L		a		d		硬さ	
	莢	子実	莢	子実	莢	子実	完熟	未熟
66日	55.9	59.0	1.4	2.0	19.7	8.8	3.3	2.1
78	56.1	45.3	0.9	2.6	16.4	10.8	3.5	2.1
86	57.7	42.2	0.9	3.8	16.8	10.9	3.6	2.2
99	56.0	42.7	1.5	6.1	17.6	12.5	4.5	-

種期により異なり、マルチ+トンネル栽培の3月上旬播きは開花期後70日、3月中下旬播きは60~70日、3月下旬以降のマルチ栽培は60日程度と考えられる。